

2021/05/10 (月)

朝の礼拝

聖書 詩編8編 4-5節 (旧約聖書840頁)

あなたの天を、あなたの指の業を
わたしは仰ぎます。
月も、星も、あなたが配置なさったもの。
そのあなたが御心に留めてくださるとは
人間は何ものなのでしょう。
人の子は何ものなのでしょう
あなたが顧みてくださるとは。

Sense of Wonder

先月、アメリカから “NASA's Mars helicopter took flight for the first time, opening the door for a new generation of space drones”、というタイトルのニュースが飛び込んできました。翻訳されたのは「NASAの火星ヘリコプターが初飛行…約40秒の歴史的なフライトの動画を公開」でした。御覧になった方もいるでしょう。

望遠鏡を改良して次々に天体を発見したのはガリレオですが、彼は「自然科学は “How the heavens go” であり、聖書は “How to go to Heaven” である」と言いました。つまり科学は天体がどのような軌道で移動するのかを解明し、聖書はどのように生きるべきなのかを語っているというわけです。次元が違います。

まだ自然科学も、キリスト教も始まる前、今、読んで頂いた詩編8編の詩人は「月も、星も、あなたが配置なさったもの」と歌っていました。実はガリレオも同じことを言っています。「私は天体の法則を解明できても、どうしてそのように月や星たちが配置されたのかはわからない」と言っているのです。

実は「わからない」ということ、“Why”というのは人間にとってとても大切なことです。例えば地球の70%は海ですが、人類が海のことを知っているのはまだ5%もわかっていないとも言われています。不思議な、未知なことに興味、関心を抱くことは、いつの時代でも神様の前に謙虚に生きる道へとつながります。

(しばらく黙祷しましょう)

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。

あなたは古代の詩人に月や星を仰ぎながらあなたを愛する心を与えられました。そしてガリレオにも天体を観測しながら、あなたを信じる謙虚な心を与えて下さいました。どうか人類が未知な世界を感じ、より謙虚に生きる道へと導かれますように。今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活をお守り下さい。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン